



2011年2月3日

報道関係者各位

株式会社 radiko

『radiko.jp』の現状と今後のご報告

～新たな放送局の参加及び新たなデバイスへの当サービスの搭載について～

『radiko.jp』は、パソコンやスマートフォンがそのままラジオ受信機となる「IP (Internet Protocol) サイマルラジオ」の実用化試験配信を 2010 年 3 月 15 日に開始、約9か月の試験配信期間を経て、同年 12 月 1 日より本配信を開始いたしました。現在、1 都 6 県(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・栃木県・群馬県・茨城県)並びに 2 府 4 県(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県)で、この『radiko.jp』サービスをお楽しみいただくことができます。当サービスにあたりましては、皆様のご支援、ご理解、ご協力を賜り、改めて御礼申し上げます。

お陰様で当サービスは、平均週間延べ聴取回数が300万～400万回前後を順調に推移し、昨年リリースいたしました「radikoガジェット」は約130万DL、iPhone版、Android版公式アプリも約116万DLと、当初の目的でありました「難聴取の解消」や「ラジオの聴取機会の拡大」に向けて一歩一歩前進しており、今後さらに拡大していく予定をご報告申し上げます。

今春以降、現在の在京、在阪の 13 局の放送局に加えて、関東、関西の周辺局並びに名古屋、北海道、福岡の放送局へと拡大してまいります。現在、約 30 局近い新たな放送局が参加を予定しており、実用化試験配信開始に向けて準備中でございます。その後、広島、仙台、静岡、そして全国へと順次拡大を検討してまいります。

また、2010 年 12 月 27 日より開始いたしました、東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)の「光iフレーム」への『radiko.jp』サービスの提供に続き、パナソニック株式会社が本日発表されました「デジタルハイビジョンテレビ ビエラ」VT3 シリーズ/DT3 シリーズ/GT3 シリーズ/ST3 シリーズ(2011 年 3 月発売予定)に 搭載される”かんたん便利なネット接続機能”「テレビでネット」がさらに進化し、この『radiko.jp』サービスが追加されることとなりました。今春以降、デジタルハイビジョンテレビでも気軽にラジオを楽しむことができるようになります。

このように、今後も、「難聴取の解消」や「ラジオの聴取機会の拡大」に向けて、あらゆる可能性を模索し、より多くの方にラジオをお楽しみいただける環境を整えてまいりますので、引き続き、皆様のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。